

毎週月曜日発行

購読料3か月10,500円 振替口座 00950-4-106153

昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2011

物流産業新聞社

I S O 9001:2008 認証取得 審査登録機関: M I C

全国13拠点をネットワーク



躍進する 女性陣

第221回

トローン 富永真理子さん

会社員として仕事をしながらインテリアコーディネーターの勉強をし、2年越しでついに資格を取った、トローン(池田浩大社長、東京都港区)の富永真理子さん。トローンは、国内でも珍しい倉庫など物流不動産を専門に不動産管理、資産価値の向上提案を行うプロパティマネジメント会社。親会社は創業90周年を迎えた東京倉庫運輸。富永さんは

現在、インテリアコーディネーターの知識を生かし、プロパティマネジメント業務を行っている。「主な仕事は館内の管理。元々倉庫だった建物に今ではテナントさん

が入ってウソへの転籍を打診され、この仕事を与えてくれた。一度は趣味となっていた分野の仕事ができるようになった富永さん。美化プロジェクトを進める中でオーナーとテナントとの間で話がスムーズにいくように努め、カラーセンスを生かした提案もしている。

美大卒業後、広告代理店でポスター制作などの職に就き、オフィスデザインなどの仕事を経て、東京倉庫運輸に事務職として入社。「大学では色彩学を専攻し、色による影響や色彩心理学を学んだ。人が居る空間や立体的なデザインが好き。事務職に就いてから「女性がずっと働いていくには何か資格が必要。年齢に関係なくできる仕事に生かせる資格を」と一念発起、インテリアコー

ディネーターの勉強を始めた。「当時の直属の上司が現在のトローンの池田浩大社長。2年前、美大出身のキャリアを生かすためにトローン

一方、建物の管理にいつも心を配り、「揺れの大きめな地震などがあるれば、可能な限り自分で館内を見て回り、不具合が発生していないかを確認する。自分で行けない場合は警備の方に頼むなどの体制も組み、テナントさんに迷惑がかかる不具合を発生させないように気をつけている。休日はショッピングのほか、美術館や展示会にも足を運ぶ。「ぶらぶらと街を歩くのが好き。イメージを作るには役立っているかも。いまは自社ビルの管理だが、外部オーナーの物件も管理を任せられるようになりたい」と語る。(小澤 裕)

常に気持ち良い空間を提案

「当時の直属の上司が現在のトローンの池田浩大社長。2年前、美大出身のキャリアを生かすためにトローン

が入ってウソへの転籍を打診され、この仕事を与えてくれた。一度は趣味となっていた分野の仕事ができるようになった富永さん。美化プロジェクトを進める中でオーナーとテナントとの間で話がスムーズにいくように努め、カラーセンスを生かした提案もしている。

一方、建物の管理にいつも心を配り、「揺れの大きめな地震などがあるれば、可能な限り自分で館内を見て回り、不具合が発生していないかを確認する。自分で行けない場合は警備の方に頼むなどの体制も組み、テナントさんに迷惑がかかる不具合を発生させないように気をつけている。休日はショッピングのほか、美術館や展示会にも足を運ぶ。「ぶらぶらと街を歩くのが好き。イメージを作るには役立っているかも。いまは自社ビルの管理だが、外部オーナーの物件も管理を任せられるようになりたい」と語る。(小澤 裕)